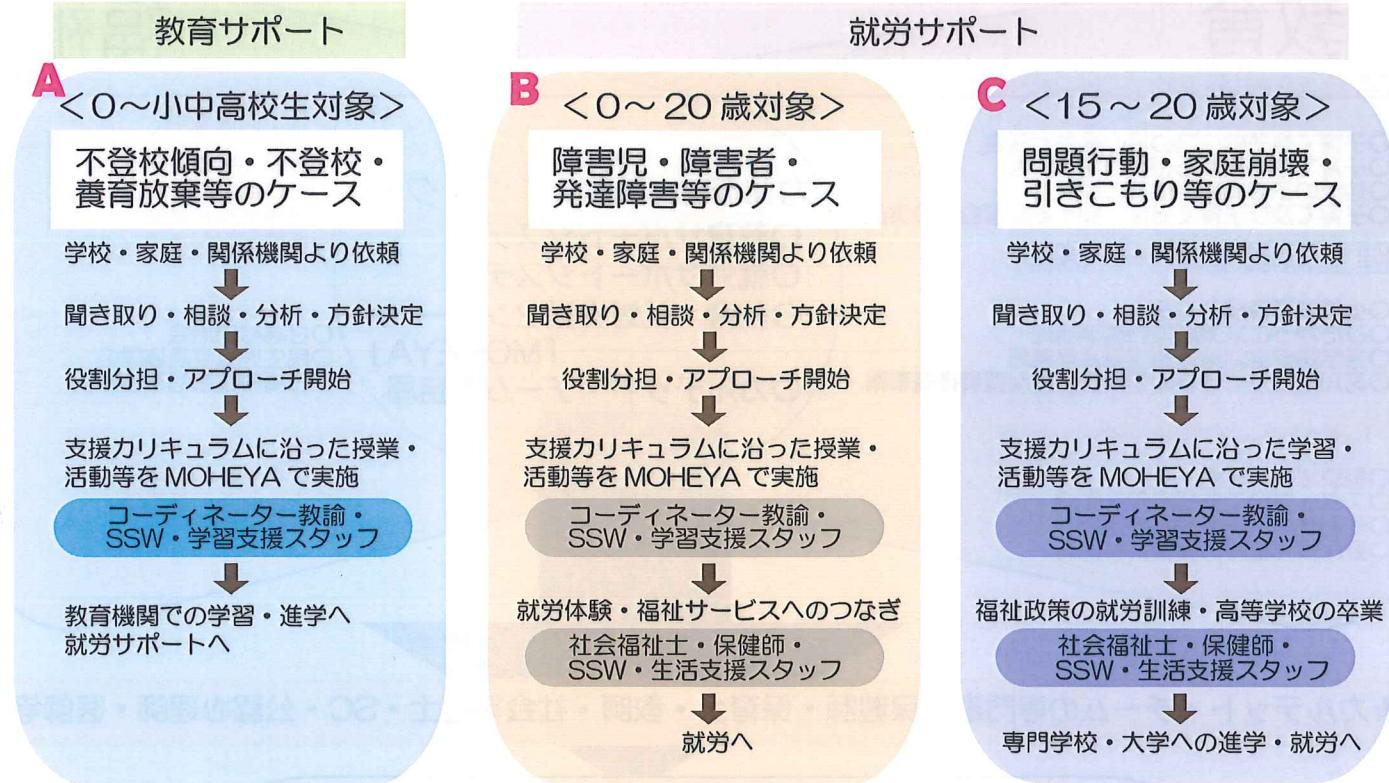


教育・就労サポートシステム

平成31年度からは、教育・就労支援センターの役割を持つ「MOHEYA（もへや）」を設置し、カルテット・チームの作成するプランをもとに支援計画を立て、日常的に学習や生活訓練などのサポートを行っていきます。



緊急時にはカルテット・チームをチーム長が招集して、事態が収束するまで支援を行います。

カルテット・チーム（専門家チーム）

- チーム長：副村長、教育長
 副チーム長：教育次長、健康福祉課長
 チームリーダー：教育・就労サポート教員
 構成員：兼務保健師、SSW、社会福祉士、学校長、育成センター専門員、教育支援保育士、SC等
 外部専門家：公認心理師、小児科医師、弁護士等

緊急時の対応マニュアルに沿いながら、その他の関係諸機関と連携し、臨機応変に粘り強く行動します。合言葉は心意気です。

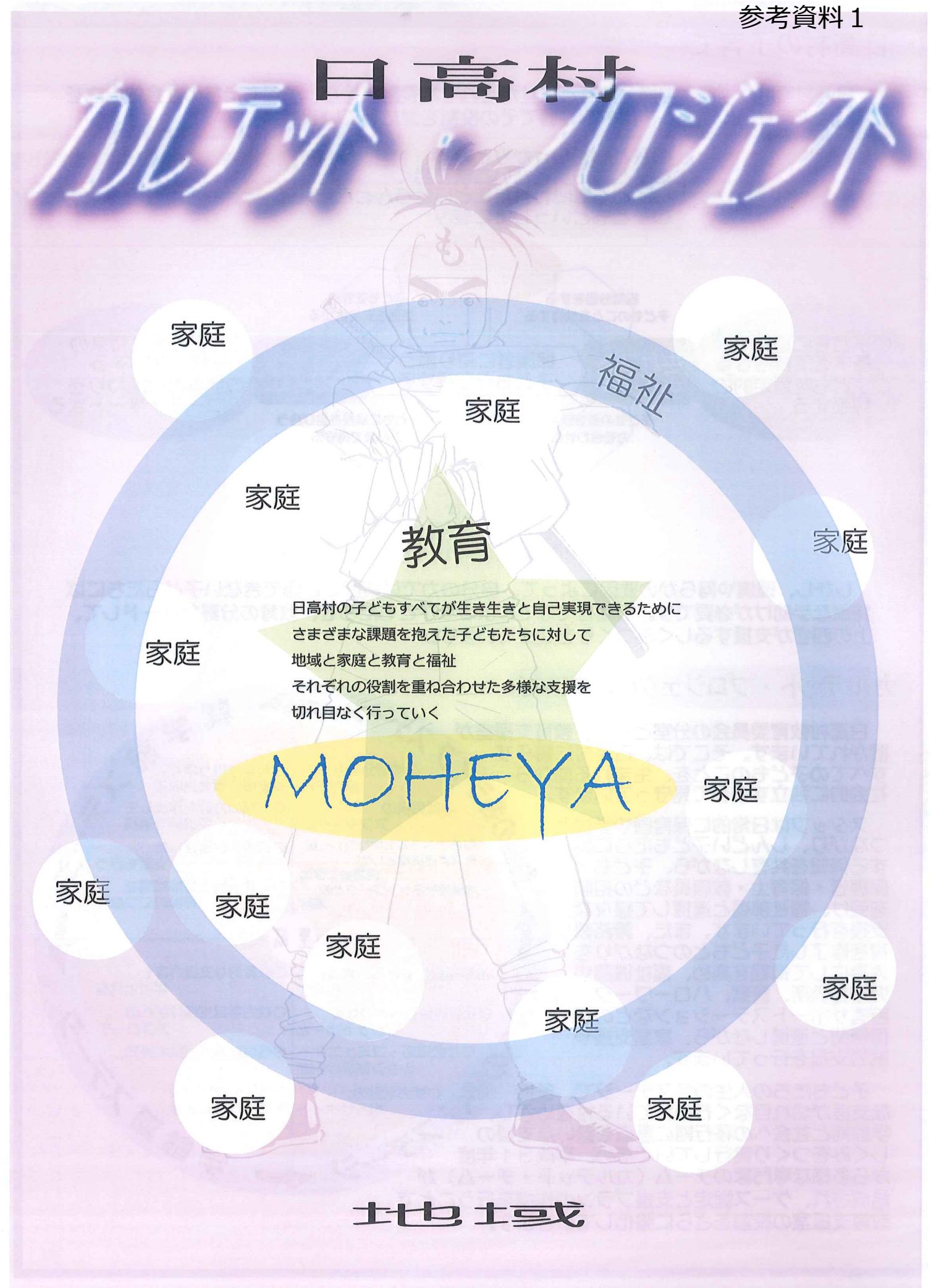
教育部門

- 本人の安全確認及び安全確保
- 本人の心の安定を図る
- 見通しを持たせる指導・支援
- 本人の思いや願いを他へ伝える

緊急時の業務

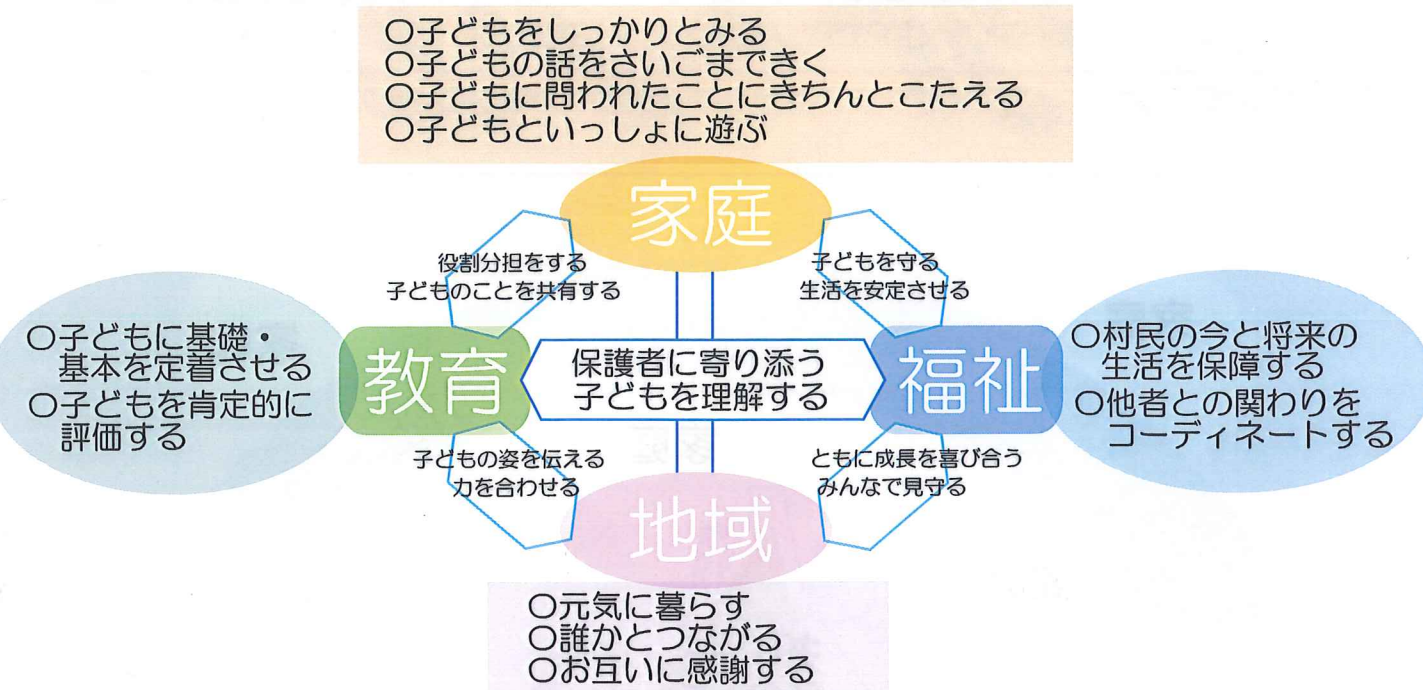
福祉部門

- 乳幼児期の家庭状況を確認
- 保護者の心の安定を図る
- 福祉的指導及び支援
- 医療等へのつなぎ



日高村の子育て

日高村では、家庭と地域・教育と福祉がそれぞれ役割を持ち、子どもたちの社会的自立を見据えてお互いに連携し、様々な場面でその役割を果たしています。



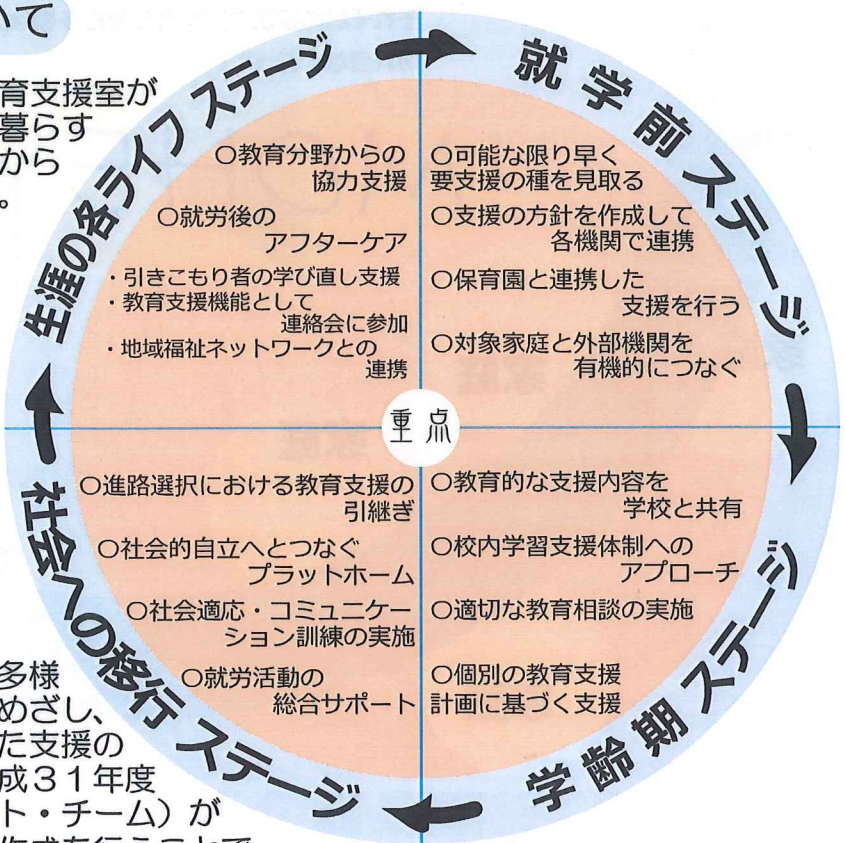
しかし、環境や何らかの要因によって、自分の力では集団に適応できない子どもたちには特別な手助けが必要です。日高村ではそのような子どもたちを、教育の分野がリードして、上の四者が支援するしくみづくりを進めています。

カルテット・プロジェクトについて

日高村教育委員会の分室として、教育支援室が置かれています。そこでは、日高村に暮らすすべての子どものことを、生まれる前から社会的に独立するまで見守っています。

スタッフは日常的に保育園や学校とつながり、しんどい子どもたちに関する情報を共有しながら、子ども・保護者・保育士・教職員などの相談を受け、福祉部署と連携して様々な支援を行っています。また、義務教育を修了した子どもとのつながりを大事にして情報を集め、福祉機関や児童相談所、警察、ハローワーク、若者サポートステーションなどの関係機関と連携しながら、家庭支援や就労支援を行っています。

子どもたちの人生の各ステージで、多様な支援が切れ目なく行われている村をめざし、学齢期と社会への移行期に重点を置いた支援のしくみをつくり実行していくため、平成31年度から多様な専門家のチーム（カルテット・チーム）が結成され、ケース認定と支援プランの作成を行うことで教育支援室の役割をさらに強化していきます。



教育と福祉は仕事としてその役割を担っています。特別な手助けを必要とする子どもに対し家庭・地域と力を合わせ、関係諸機関とともに多様な支援をするために、様々な業務を行っています。重大なケースに対しては、教育部門と福祉部門が協働して、集中的・継続的な支援を行います。それが、カルテット・プロジェクトです。

教育

子育て支援センター機能

- 子育て親子の交流の場の提供と促進
- 子育て等に関する相談援助の実施
- 地域の子育て関連情報の提供
- 子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施

健全育成サポート機能

- 少年補導育成センター
- ひだかっこ未来応援会議事務局
- 通学路安全対策連絡協議会事務局
- 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

児童家庭相談機能

- 相談窓口の開設
- スタッフ会で支援方針を作成
- 個別ケースファイルの活用
- 要保護児童対策協議会事務局

福祉

カルテット・プロジェクト

- 教育サポートシステム
- 就労サポートシステム
- 教育・就労支援センター「MOHEYA」
- カルテット・チーム事務局

- 母子保健事業
- 子育て世代包括支援センター
- 障害児通所支援事業所
- ふれあいプラザ
- 障害者福祉事業
- 保健センター

- 日高村自治会
- 民生児童委員協議会
- 日高村社会福祉協議会

- 中央児童相談所
- 中央西福祉事務所
- 健康福祉課

★カルテット・チームの専門家：保健師・保育士・教師・社会福祉士・SC・公認心理師・医師等

いじめ・引きこもり・不登校・発達障害・児童虐待・家庭崩壊・高校中途退学・未就労など

ケース認定・プラン立て（コーディネーター教諭による）

ケース検討会

個別アプローチ開始
本人・保護者との接触、聞き取り等

ケース検討・分析
方向性の打ち合わせ
関係機関との連携・連絡

見守り・フォロー支援

緊急事態と判断

ケース検討会

個別アプローチ開始
本人・保護者との接触、聞き取り等
ケース検討・分析
方向性の打ち合わせ
関係機関との連携・連絡

臨機応変に対応

見守り・フォロー支援
ケース分析評価・情報共有